

投票行動の呼び掛けにご協力ありがとうございました

前回（99年）地方選挙と比べ、萩之茶屋投票区だけが投票率上昇

4月13日(日)は、大阪市議員・大阪府議員選挙の投票日でした。

皆もよく知っているように、釜ヶ崎支援機構は、萩之茶屋投票区の投票率がこれまであまりにも低すぎたことから、このままでは政治家が本気になって対策の実現に力を貸してくれないおそれがあると考え、投票行動をよびかけました。

結果は、大成功、といえると思います。なぜなら、西成区全体として前回の地方選挙の投票率より下がっているのに、唯一、萩之茶屋投票区の投票率だけが上昇しているからです。

99年と今回の投票率の差は、1.55%ですが、西成区全体の投票率が4.41%下がっていますから、貢献度は、5.96%とみなすことができます。

投票区名	1995		1999		2003		市議選不在者投票数		
	有権者数	投票率	有権者数	投票率	有権者数	投票率	男	女	計
弘治	4,978	57.23	4,907	59.87	4,838	55.42	190	188	378
長橋	5,393	71.46	5,137	72.34	5,059	68.20	344	383	727
萩之茶屋	15,819	23.23	16,985	24.46	18,000	26.01	676	182	858
今宮	8,662	50.57	8,637	52.39	8,012	48.32	353	299	652
橘	8,443	63.35	8,125	64.52	7,850	58.14	413	454	867
松之宮	3,912	64.19	3,789	66.88	3,636	59.96	158	145	303
梅南	4,374	58.34	4,360	59.38	4,355	56.28	172	165	337
玉出	7,904	53.50	7,807	55.95	7,812	49.26	256	293	549
岸里東	6,556	49.82	6,489	51.92	6,661	46.73	324	380	704
岸里西	5,534	57.43	5,474	59.57	5,074	53.02	224	281	505
千本	9,855	61.75	9,585	63.72	9,464	59.76	450	601	1,051
津守	2,680	62.87	2,656	65.32	2,458	59.68	93	131	224
南津守	7,158	53.26	6,973	55.30	7,625	50.58	379	557	936
北津守	2,869	72.71	2,620	74.85	2,348	70.83	78	102	180
山王	4,669	49.45	4,573	49.66	4,472	44.10	103	81	184
天下茶屋	9,118	56.78	8,837	59.93	8,409	55.05	378	381	759
合計	107,924	52.81	106,954	54.16	106,073	49.75	4,591	4,623	9,214

市議選	当落	届出番号	候補者名	党派	現元新	得票数
	当	1	前田 おさみ	公明党	現	12,709
	当	2	むらお 政利	無所属	新	6,529
		3	いながき ひろし	無所属	新	1,702
	当	4	柳本 顕	自由民主党	現	9,146
	当	5	辻 淳子	自由民主党	新	8,447
		6	谷下 浩一郎	日本共産党	現	5,868
	当	7	小林 みちひろ	民主党	新	7,471

府議選		届出番号	候補者名<通称>	届出政党	現元新	得票数
		1	がもう 健	日本共産党	現	14,129
	当	2	あらか 幹雄	民主党	新	14,513
当	3	なわ 敬方	公明党	現	21,019	

今回は千人、次回は二千人、三千人の参加をめざそう！

下がるべき投票率を押し上げた%を、有権者数にかけると、1072人になります。あと2600人上乗せすれば、投票率は4割を超えることになります。

次の選挙は、大阪市長選、大阪府知事選、そして衆議員選です。誰に投票するかはともかく、釜ヶ崎に対する注目を確保し続けるために、投票行動は続けよう。

釜ヶ崎支援機構は、今後も呼び掛けを続けていきます。

「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づく国の全国調査が終わり、今後、国の基本方針策定、自治体の実施計画策定と進んでいきますが、行政任せにするのではなく、現場の意見を反映させていくためにも、市議・府議・国会議員の協力は欠かせません。今後の見直しを見据えてもそうです。

関係ないように見えても、結びついているのです。今後もよろしく。

遅くなりましたが、下の表は、全国調査結果の一部です。大阪市内は減少していることになっていますが、公園や道路脇に固定した寝場所を確保している仲間を中心にした調査ですから、こんなものかと思われま

す。8千人から数字は小さくなっているとはいえ、1年、2年で6千人に対応できれば、8千人にも対応できる体制となるはずですから、数字の真偽は、大きな争点ではありません。

	今回調査	1月推計人口 (千人)	対人口 千人当
東京23区	5,927人	8,289	0.72
横浜市	470人	3,503	0.13
川崎市	829人	1,283	0.65
名古屋市	1,788人	2,188	0.82
大阪市	6,603人	2,620	2.52
5都市計	15,617人	17,883	0.87
札幌市	88人	1,849	0.05
仙台市	203人	1,020	0.2
千葉市	126人	906	0.14
京都市	624人	1,467	0.43
神戸市	323人	1,512	0.21
広島市	156人	1,136	0.14
北九州市	421人	1,006	0.42
福岡市	607人	1,371	0.44
他指定都市計	2,548人	10,267	0.25
全国合計	25,296人	127,380	0.2

上の表で示していることは、人口千人に対しての野宿生活者の割合です。大阪市では、人口千人に対して2.52人野宿している仲間がいることとなります。全国では、その十分の一の0.2人にすぎません。

人数では大阪より676人しか少ない東京23区ですが、千人当りでは0.72人で、大阪の三分の一強の密度となります。大阪の野宿生活者の苦難は、この密度からいっても日本一ということが出来ます。